

1 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 [知識及び技能] (2)ア
- (2) 目的や意図に応じて、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア
- (3) 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

2 本単元における言語活動

グラフを基に小論文を書く。 (関連:[思考力、判断力、表現力等] B(2)ア)

3 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------------------|---|--|
| ①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) | ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ②「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) | ①論理の展開や、意見と根拠などを粘り強く考え、題材に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。 |

4 指導と評価の計画 (全5時間)

| 時 | 主な学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
|--------|--|---------------------------|------------------------|
| 1 | ○小論文について知る。 ○単元の目標や計画をつかみ、単元全体の学習の見通しをもつ。 | | |
| 2 | ○小論文で書く意見を決め、【資料】の図表の中から適切な根拠を選ぶ。 | [知識・技能] ① [思考・判断・表現] ① | ワークシート① ワークシート② |
| 3 4 | ○多様な読み手を説得できるように論理の展開を考え、文章の構成を考える。 ○小論文の下書きを書き、自己評価をする。 ○グループで下書きを読み合い、相互に評価する。 ○読み手からの指摘や他の生徒の書いた下書きを読んで気付いたことを基に、推敲し、清書する。 | [思考・判断・表現] ② | 小論文の下書き、 小論文の清書 |
| 5 | ○単元の学習で学んだことを確認し、新たな題材で小論文を書く。 ○単元全体の学習の振り返りをする。 | [主体的に学習に取り組む態度] ① | 振り返りの記述(単元の計画表)、小論文の清書 |

【単元の流れ】

| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
|--------|--|---|--|
| 1 | ○小論文について知る。 ○単元の目標や計画をつかみ、単元全体の学習の見通しをもつ。 | ・小論文と意見文のモデルを比較する学習活動を設定することで、小論文に、自分の意見を支える根拠として、客観性や信頼性が高い適切な事実が用いられていることや、小論文の書き方が、多様な読み手を説得できるように自分の意見の正当性を示す書き方となっていることに気付くことができるようにする。 ・単元の目標や、小論文の題材と【資料】を示すことで、単元全体の学習の見通しをもつことができるようにする。 | |
| 2 | ○小論文で書く意見を決め、【資料】の図表の中から適切な根拠を選ぶ。 | ・【資料】を提供することで、題材について考えをもち、小論文で書く意見を定めることができるようにする。 ・1人1台端末に、ヒントを示したワークシート①を配付することで、【資料】の図表を基に、意見を支える根拠となる事実、その事実に対する解釈、及び自分の意見を書く材料として整理できるようにする。また、他者のワークシートについても閲覧できるようにすることで、必要ときに他者参照をすることができるようにする。 ・【資料】の図表から読み取った事実やその解釈について意見交流する場面を設定することで、意見を支える根拠として適切な事実を選択できているか、その解釈に客観性があるかなどと、吟味できるようにする。 | [知識・技能] ① ワークシート① ・ここでは、選んだ【資料】の図表から読み取った事実の中から、自分の意見を支える適切な根拠を選んでいるかを確認する。 [思考・判断・表現] ① ワークシート② ・ここでは、題材に沿って選んだ【資料】の図表を読み解き、読み取った事実、その事実に対する解釈、及び自分の意見について整理して書き出しているかを確認する。 |
| 3 4 | ○多様な読み手を説得できるように論理の展開を考え、文章の構成を考える。 | ・小論文のモデルを再度提示することで、論理の展開について確認できるようにする。 ・1人1台端末にワークシート②を配付することで、ワークシート①に整理した書く材料を基に、論理の展開を考えて文章の構成を決めることができるようにする。 | |

| | | |
|---|---|--|
| <p>○小論文の下書きを書き、自己評価をする。</p> <p>○グループで下書きを読み合い、相互に評価する。</p> <p>○相互に評価した内容や他の生徒の書いた下書きを読んで気付いたことを基に、推敲し、清書する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②で決めた文章の構成を基に、下書きを書くように促す。 ・「多様な読み手を説得できるような小論文を書く」という目的を確認した上でチェックポイントを示し、下書きを自己評価するように促すことで、多様な読み手を説得できる小論文となっているかを確認できるようにする。 【チェックポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・根拠とする事実は客観性や信頼性があるか ・論理の展開に飛躍はないか ・自己評価した際と同じチェックポイントを基に、下書きを相互に評価する学習活動を設定することで、多様な読み手を説得できるような論理の展開について、考えを深めることができるようにする。 ・清書には1人1台端末を活用しても、原稿用紙に書いてもよいことを伝え、自分に合った方法で小論文を書くことができるようにする。 | <p>[思考・判断・表現]② 小論文の下書き、小論文の清書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、説得力のある文章にするために、論理の展開や意見と根拠、その結び付きを考えながら、文章の構成を工夫しているかを確認する。 |
| <p>5 ○単元の学習で学んだことを確認し、新たな題材で小論文を書く。</p> <p>○単元全体の学習の振り返りをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習で学んだことを生かして、新たな題材で小論文を書き、チェックポイントを基に自己評価する場面を設定することで、自分の変容を捉えることができるようにする。 ・振り返りの視点を示すことで、単元全体の学習で学んだことを、今後の学習でどのように生かしていくかについて考えることができるようにする。 【振り返りの視点】 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を達成するために頑張ったこと ・単元で工夫しようとしたが、十分ではなかったこと ・今回学んだことを、これからどのように生かしていくか | <p>[主体的に学習に取り組む態度]① 振り返りの記述(単元の計画表)、小論文の清書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、論理の展開や、意見と根拠などを粘り強く考え、題材に沿って説得力のある小論文を書こうとしているかを確認する。 <p>*本評価は、全ての時間の振り返りの記述等を合わせて評価する。</p> |